明治30年8月31日第3種郵便物認可

能登半島地震 被災者支援活動

住民たちの談笑の輪が広が など大きな被害を受けた。くの家屋などが全半壊する った(写真右、 帯が暮らす、 で被災した道下 高岡教区・鸞翔会

_前町の道下第2団地(仮 "居酒屋" となり の集会所が3月17 月の能登半島地震 県輪島市

(村上昂文会長)は、同地区手僧侶有志でつくる鸞翔会高岡教区(富山県西部)の若 絡役をする同地区の女性か にまだ仮設住宅ができて の支援物資を届けた。 ボランティアとの連 た公民館に飲料水な 住民との交流が始



「ゆっくりと語り合いましょう」

ランティアの人たちと交流

団地からの参加もあり、

たち高岡教区

も被害を受け

分が集った。

という地区の

にりとした時間の中で、

ている。居酒屋は「ゆっ

と次々に来店。第2団地だ

けでなく、近くにある第1

ちの要望に応えたもの。

らったものを提供すること Bなど17人と、 になった。 婦人会員2人 同会の会員や0

き出しなどの支援活動を続回にわたり物資の搬入、炊うになった。これまで約10

ら支援を求める声

新鮮なお刺身が食べられて き、、居酒屋、を開いてよか っくりお話で ルも隆起して閉鎖状 地震で海岸が4 しすることがで しぶりに



類も用意。食事メニュ 飲みながら、ゆっくりと語 イデアを出し合い、欠ら合ってもらおうと」と、 合いを重ねた。 イデアを出し合い しめるようにとジュー 初めて行う「炊 ルや日本酒、 などのアル ピザ、 子どもも 「お酒を 飲み

> に来て しもらっているが、 までで一番にぎやかで楽 住民からは「とても楽し 昨年からこの仮設 みんなが来てくれ 「なかなか元の いろと支援を いと思うけ 今日

同士やふるがら、住民食べ物を食べながら、住民食べ物を食べながら、住民 間の午後8時まで和やか お酒やソフ 文援や助けを たことで、 ことがあるな ことでもさせ へと人のつながりを大切に ていきた 少 るならば、小さなりしでも力になれる りをいただいた。全国の方々から ていただき、 さんに喜んで できれ 初めて開

同士や会員らと歓談。



開闢即又多一 持続可能な宗務組織の構築を目指し

連載

鎌田 實

『三帖和讃』を味わう 玉木興慈 「人生の爪先下り」

トイレで地球を救う 白倉正子

イチオシ名作映画 浜村 淳 防災キッチン 坂本佳奈

慈悲のワイドショー 野田 茜

川柳みどう倶楽部 夕 凪子

季節の短歌 田宮朋子

仏像百景 打本和音

るから頑張れるよ」

養寺衆徒)

は

皆され

会長

持続可能な宗務組織の構築を目指して新 たに設置された宗務部門職制が4月1日、 始動した。同日朝、新職制発足式が行われ、

園城義孝総長が「宗門の将来をより確かな ものとできるよう、各部門が協力して着実 に推進してもらいたい」と宗務所員に訓示

新たに設けられた職制(経常部門)は、

①企画管理部門②研究業務部門③経常業務 部門④財政事業部門の4部門に分かれる。 各担当は次の通り。

\Diamond 【企画管理部門】

○統合企画室=企画関係、重点プロジェ クト推進関係、文書関係、法制関係、人事 関係、DX推進関係、広報関係を担当。

塩の直後、私と。村上会長は

【研究業務部門】 ○浄土真宗本願寺派総合研究所

○本願寺史料研究所

【経常業務部門】 伝道部、教化部、社会 部、寺院活動支援部の4つ。

○伝道部=布教関係、国際関係、育成研 修関係、仏教学院・勤式・学階関係を担当。 得度習礼・教師教修所は同部の付属部門。

○教化部=組織教化・ご縁づくり関係、 門信徒教化関係、宗教教育関係を担当。

○社会部=人権問題関係、社会事業関係、 災害対策関係を担当。また、ジェンダー平 等推進課を設置。

○寺院活動支援部=一般寺院関係、直轄

期的成果。 はなれてきな

思想とへ信

寺院・直属寺院関係、連区・教区・組関係、 過疎地域対策・国内開教対策関係を担当。 【財政事業部門】

○財政事業部=財務関係、本願寺出版社 関係、聞法会館関係を担当。また、経理課 を設置。

伝道本部内の配置は、2階に統合企画室、 伝道部、社会部。1階には教化部、寺院活 動支援部、財政事業部〈財務関係〉。地階 には浄土真宗本願寺派総合研究所、財政事 業部〈本願寺出版社関係〉。

各部の連絡先(電話番号、メールアドレ ス等)は4月10日号2面に掲載。

本願寺新報

hongwanji journal

4月20日(日曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺) 〒600-8501 本願寺出版社内

電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753



20-37-0

今号の紙面

春休みに児童念仏奉仕団……8



かける親子連れ=4月8祝いし、誕生仏に甘茶をお釈迦さまのご誕生をお 本山・御影堂門

みんなの法話………4 学ぶ親鸞聖人 ご生涯×教え…5 お釈迦さまの前世物語………3 季節の養生と薬膳…………… 本願寺インスタ倶楽部………3 読者のひろば(俳壇・歌壇)



ボトルの酒が半分になった時、「も う半分に減ってしまった」と思うか、 「まだ半分も残っている」と受け取 るか。これは悲観と楽観主義を語る

時によく用いられる例え。前者が悲観主義者、後者 は楽観主義者だそうだ。

▼私はあきらかに前者。宗教専門紙の記者時代、他 社の動きが気になり、「もし自分より先にこの記事 を書かれたらどうしよう」「自分が知らないことを 他社の記者が取材しているのではないか」と心配ば かりして、気の休まる時がなかったような気がする。 自分のやるべきことをやればいいのだと割り切るこ

とができなかった。 ▼本願寺に拠点が置かれる京都宗教記者会に所属す る一般紙の記者に、他紙にスクープ記事が載っても 平然としている記者がいた。「デスクに叱られない か」と尋ねると、「競合紙が他に4社あれば、5回 に1回こちらがスクープを打てば勝負は互角。どん な記者でも毎日特ダネを書き続けることはできな い。それに特ダネだけが記事じゃない」と答えた。

▼穏やかな語り口に「負け惜しみ」は見られず、特 ダネ競争を冷静に分析し、客観的に自分の置かれて いる立場を見ようとする余裕すら感じた。時には物 事を懐疑的に見る必要もあり、悲観主義がすべて悪 いわけではないが、この記者のようなポジティブな 物の考え方を見習いたいものだと思った。新年度に あたり、物事を悲観的でなく冷静に捉え、前向きの 思考でこの1年を過ごしたい。

購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日 浄土真宗本願寺派 代表電話

宗務所 075(371)5181/大谷本廟 075(531)4171

宗派公式Webサイト https://www.hongwanji.or.jp 本願寺ホームページ https://www.hongwanji.kyoto



いのちに寄り添い元気づけてくれる

'면팅'본''- 18*96*' 特定非営利活動法人 「心織(ここる)」代表

ファシリティ FyG

リハビリ指導医

ままならない人生 歌手・女優 真琴つばさ

私と仏さま **梅本宇美子** 極楽の道しるべ 佐々木覚爾 御堂さん編集部 部数 単月購読 年間購読 年間購読 (1部) 20部~ 110円 90円 2,400円業数 〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-3 100部~ 100円 80円 (1部税込単価) TEL:06-6261-6796 FAX:06-6261-6828 E-mail:midosan-koudoku@kitamido.or.jp $| \, \overline{500$ 部 $\sim | \,$ 90円 70円 ※別途、送料がかかります

重版出来 漫画・お寺の掲示板 篠原ユキオ お悩み相談 駆け込み堂 **小谷みどり**

情人 「大学院の未来/浄土真宗のお彼岸/この世にて/など。 「大学における掲示伝道の本願寺の新報、または小冊子や、大学における掲示伝道の本願寺の新報、または小冊子や、大学における掲示伝道の 上流泰信著 「大学における掲示伝道の 定価1100円(税込)

東西本願寺10年版会でである。東
東西本館は、東西本主に前半は、東西本会で一二〇項目のな視点も踏まえて東 関して時系列で振り返りながら解説する。「踏まえて東西本願寺のちがいに着目し、主にお二〇項目のちがいを紹介する。後半は、歴史的は、東西本願寺の組織・寺紋・荘厳・勤式・作著 120 0) ちが

永田文昌堂 600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入

多法藏館 https://pub.hozokan.co.jp

近代日 県 佩遥署 「宗教」概念研究 「宗教」概念研究 「宗教」概念研究 教行信 長野量「著」 長野量「著」 証

生の古稀を祝し、有志十数名による論文・エッセイ・
本田眞円先生古稀記念論集刊行会・圖
森田眞円先生古稀記念論集刊行会・圖
森田眞円先生 訳と註

戦利行会(M) せいお

妙 を辿り、そ 九五〇円 \hat{o} 世 娇 **△**。世界

の霊性的世界と宗悦、楠恭氏なか好人を世界に対する

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入ル TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458 表示価格は全て税込 新刊メール配信中! お買上16,500円(税込)以上送料無料

釈

上卷



なたは死後どこ

〒520-0027 大津市錦織2丁目9-30-101 TEL 077 (599) 4201 FAX 077 (599) 4220 [e-mail] post@tankyusha.co.jp

【表示価格は税込】